

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 4 月 14 日 (2011.4.14)

【公表番号】特表 2009-529502 (P2009-529502A)

【公表日】平成 21 年 8 月 20 日 (2009.8.20)

【年通号数】公開・登録公報 2009-033

【出願番号】特願 2008-557568 (P2008-557568)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/047 (2006.01)

C 0 7 C 35/14 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/047

C 0 7 C 35/14

A 6 1 P 25/28

【手続補正書】

【提出日】平成 22 年 3 月 2 日 (2010.3.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タンパク質の折り畳みおよび / もしくは凝集、ならびに / あるいはアミロイド形成、沈着、蓄積、または固執の障害の兆候の予防、処置、あるいは制御における使用のための、経口投与に適した、被験体への 500mg の s c y l l o - イノシトールの用量を投与するための、投薬形態。

【請求項 2】

少なくとも約 0.05 μM の前記被験体での前記 s c y l l o - イノシトールの血漿または脳脊髄液 (CSF) 濃度を提供する、請求項 1 に記載の投薬形態。

【請求項 3】

薬学的に許容される担体、希釈剤、または賦形剤も含む、前記請求項のいずれか 1 項に記載の投薬形態。

【請求項 4】

それぞれ  $43 \pm 20\%$  または  $130 \pm 20\%$  の  $\mu \cdot h / mL$  の平均  $AUC_{0-I N F}$  を有し、かつそれぞれ、 $5.8 \pm 20\%$  または  $17 \pm 20\%$  の  $\mu mL$  の平均  $C_{m a x}$  を有する平均血漿濃度プロファイルが達成される、前記請求項のいずれか 1 項に記載の投薬形態。

【請求項 5】

1 日に 1 回の被験体への経口投与のための前記請求項のいずれか 1 項に記載の投薬形態。

【請求項 6】

錠剤の形態の請求項 5 に記載の投薬形態。

【請求項 7】

カプセルの形態の請求項 5 に記載の投薬形態。

【請求項 8】

アルツハイマー病の処置方法における使用のための前記請求項のいずれか 1 項に記載の投薬形態。

【請求項 9】

軽度認識障害の処置方法における使用のための前記請求項のいずれか 1 項に記載の投薬形態。

【請求項 10】

即時放出投薬形態である前記請求項のいずれか 1 項に記載の投薬形態。

【請求項 11】

前記請求項のいずれか 1 項に記載の投薬形態の調製方法であって、ある量の s c y l l o - イノシトールと、薬学的に許容される担体、賦形剤または希釈剤とを混合する工程を包含する、方法。

【請求項 12】

1 日 1 回または 2 回、500 m g または 1000 m g の用量で被験体へ経口投与することによってタンパク質の折り畳みおよび / もしくは凝集、ならびに / あるいはアミロイド形成、沈着、蓄積、または固執の障害を予防および / または処置するための医薬の調製のための、s c y l l o - イノシトールの使用。

【請求項 13】

前記医薬が錠剤またはカプセルである、請求項 12 に記載の使用。

【請求項 14】

前記医薬がアルツハイマー病の処置用のものである、請求項 12 に記載の使用。

【請求項 15】

前記医薬が軽度認識障害の処置用のものである、請求項 12 に記載の使用。